

『豊かな未来に向けた躍進 GO!GO!北九州市』



平成30年10月31日
北九州港セミナーin東京
北九州市長 北橋 健治



SDGsの達成に向けて SDGsとは

55th Anniversary
北九州市



2



貧困をなくそう



飢餓をゼロに



健康と福祉を



質の高い教育を



ジェンダー平等



水とトイレを



エネルギーをクリーンに



働きがい・経済成長



産業・技術革新



不平等をなくす



まちづくり



作る・使う責任



気候変動対策



海洋保全



環境保全



平和と公正



パートナーシップ



SDGs (持続可能な開発目標 : Sustainable Development Goals)

- 2015年9月の国連サミットで、すべての加盟国（193カ国）が採択した国際目標
- 発展途上国のみならず、先進国自身も取り組む
- 2030年までの目標であり、17の目標（ゴール）の達成を目指している

第1回「ジャパンSDGsアワード」 特別賞を受賞 (2017年12月26日)

280団体以上が応募

12団体受賞 (自治体は北九州市と下川町のみ)



首相官邸での表彰式 (写真提供：内閣広報室)

OECDの「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定

(2018年4月23日)



10～12都市選定
(ドイツ・ボンなど)
アジア地域で初めて選定

共同記者会見

国の「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定 (2018年6月15日)



市長会見

29都市選定
(うちモデル事業は
10都市のみ)

北九州市の強み

公害克服の原動力となった

・「市民・企業・大学・行政」
の連携

・「青空がほしい運動」など、
女性の力をはじめとする高い
「市民力」

アジアとつながる 3つの力

- ① 公害克服の経験
- ② 環境・エネルギー技術
- ③ フレンドリーな関係



スラバヤ市（インドネシア）

2012年11月 「環境姉妹都市提携」



ハイフォン市（ベトナム）

2014年4月 「姉妹都市協定」



プノンペン都（カンボジア）

2016年3月 「姉妹都市協定」



ダバオ市（フィリピン）

2017年11月 「環境姉妹都市提携」

廃棄物管理、エネルギー、上下水、環境保全など
「北九州モデル」を活用した総合的なまちづくりの輸出



プノンペン都との姉妹都市協定締結式



ダバオ市との環境姉妹都市締結式

北九州エコタウン～日本最大級のリサイクル産業集積地～



天皇皇后両陛下ご視察

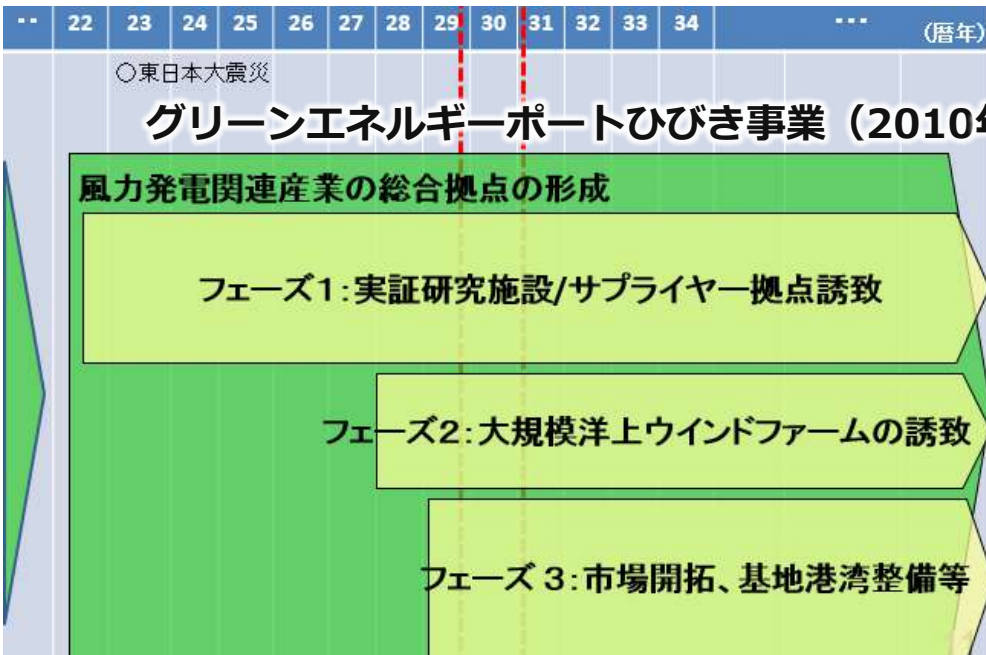


世界初 オールリサイクルメダル



新たなリサイクル産業の創出

- 古着から再生ポリエステル製造
- リチウムイオン電池リサイクル
- 太陽光発電パネルリサイクル
- 電子基板輸入、貴金属レアメタル回収



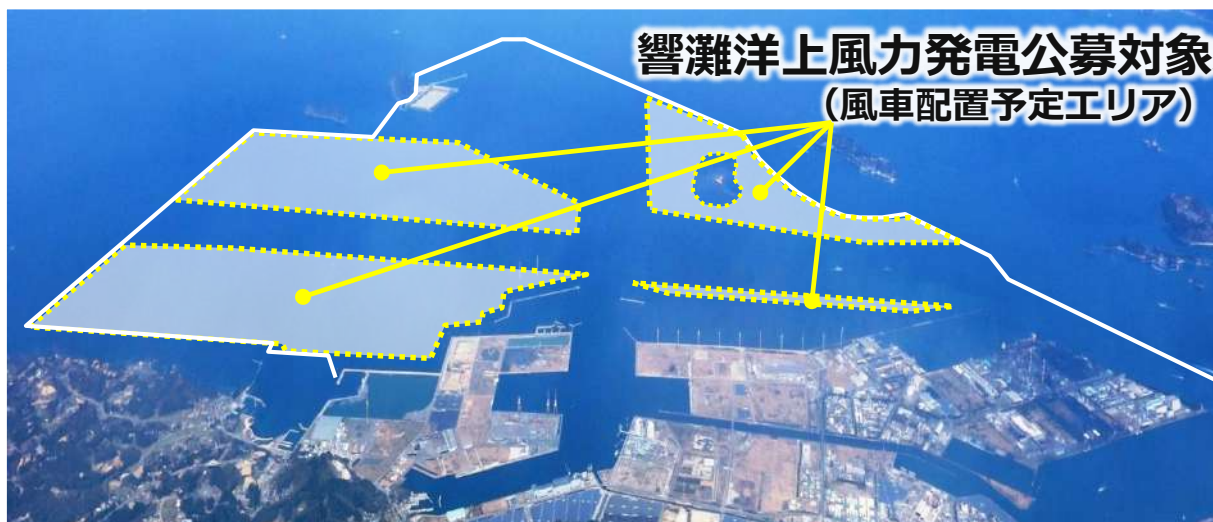
風力発電関連産業に必要なあらゆる機能を集積した「総合拠点」を形成



物流倉庫兼メンテナンス・トレーニングセンター

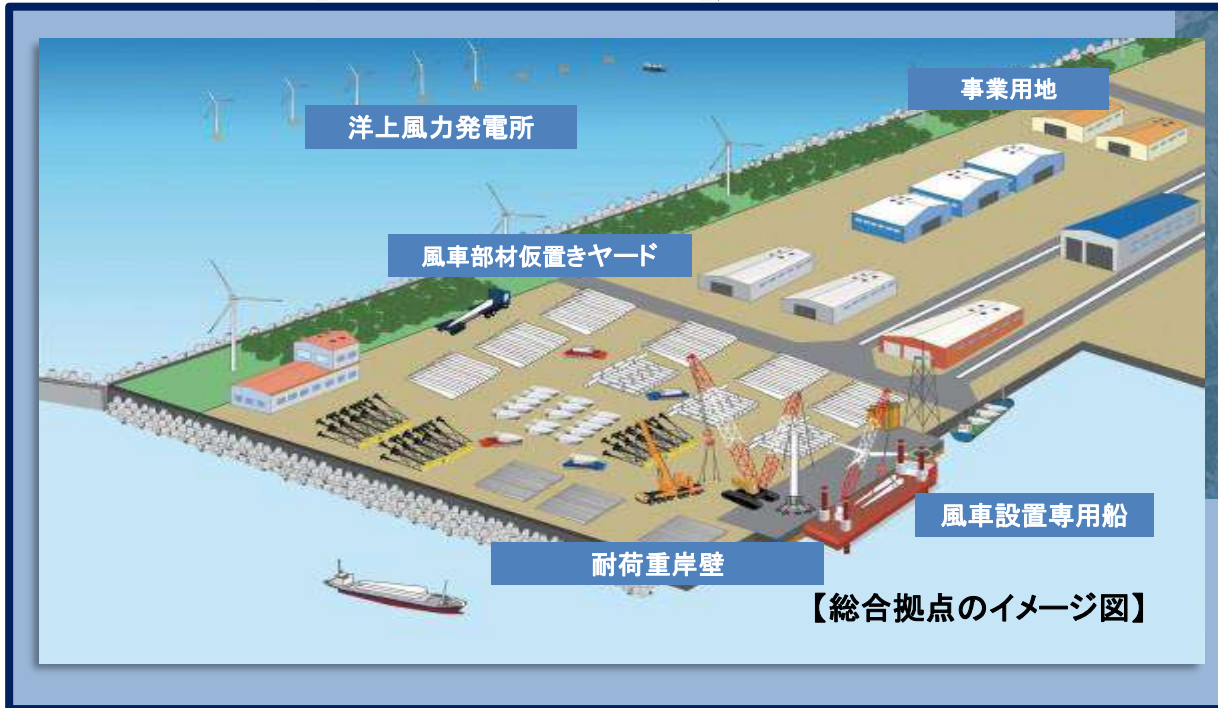


ひびきウインドエナジー(株)との基本協定締結



電源開発株式会社
2.0MW

総合拠点化に向けた取組み



総合拠点化への条件

- I マーケットの拡大
- II 各種機能の集積
- III 基地港湾の整備



ロケーション・国際交流の実績



G7エネルギー大臣会合開催

豊かな文化土壌



多くの本市ゆかりの文学者
(北九州文学サロン)

先進的な取り組み



「相棒～劇場版Ⅳ」ロケ撮影
北九州フィルムコミッション

北九州市の強みを活かした取組強化

「創造都市」へのステップアップ ⇒ 地方創生を推進

文化庁長官表彰（文化芸術創造都市部門）を受賞！

県内初受賞！

「東アジア文化都市2020 北九州」
開催決定！

九州初開催！



開催地決定 記者会見
(平成30年8月8日)

経緯

2012年の第4回日中韓文化大臣会合での合意に基づき開始。

内容

3か国から選定された都市が、都市間交流を含む文化芸術事業を集中的に実施。

活動例

開会／閉会イベント、文化芸術関連事業、青少年交流等。

効果

- ・東アジア域内の相互理解・連帯感の形成の促進
- ・東アジアの多様な文化の国際発信力の強化
- ・都市の文化芸術・クリエイティブ産業・観光振興と継続的な発展

開催都市・開催予定都市





北九州 歴史と夢は 港から

北九州の港と空港 最近の状況について

平成30年10月31日

北九州市港湾空港局長 木本 仁

目次



北九州 歴史と夢は 港から

1. 北九州港について

P 3～8 貨物の動向

P 9～11 創貨（企業立地とエネルギー拠点化）の状況

P 12～14 クルーズ船の寄港状況

2. 北九州空港について

P 15～20 旅客・貨物便の状況等

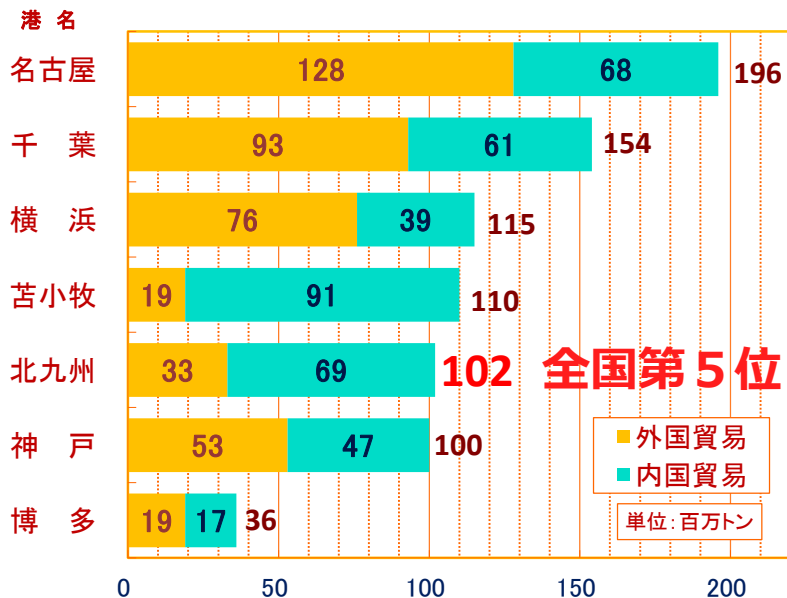
P 21～22 空港の機能強化

平成29年は、1億150万トン(前年比 3.0%増)

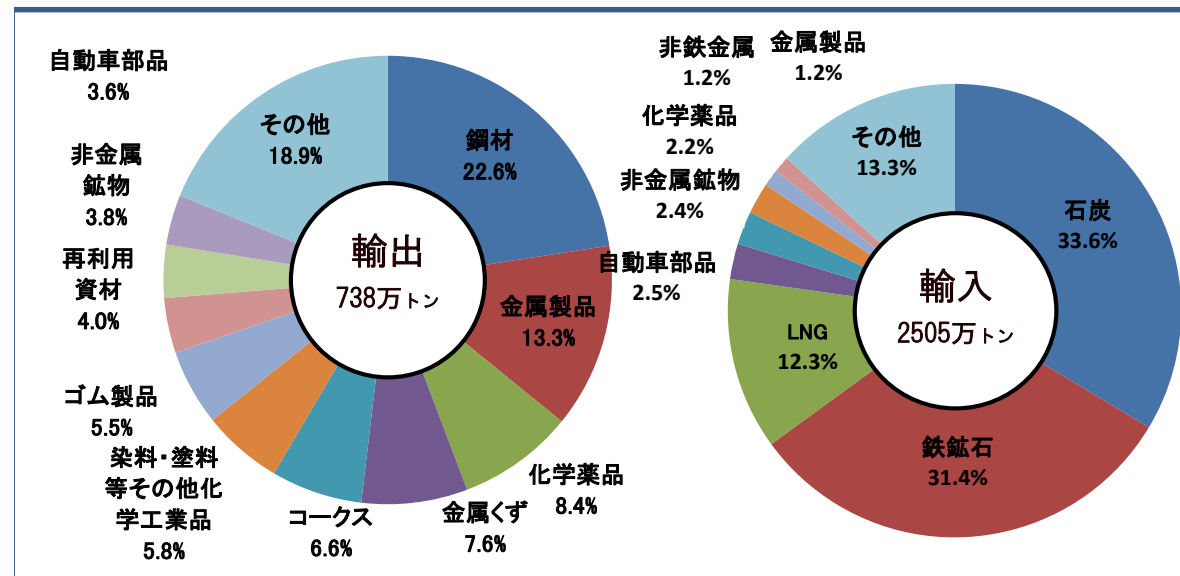
輸送手段別取扱貨物量の割合



日本の主要7港の取扱量



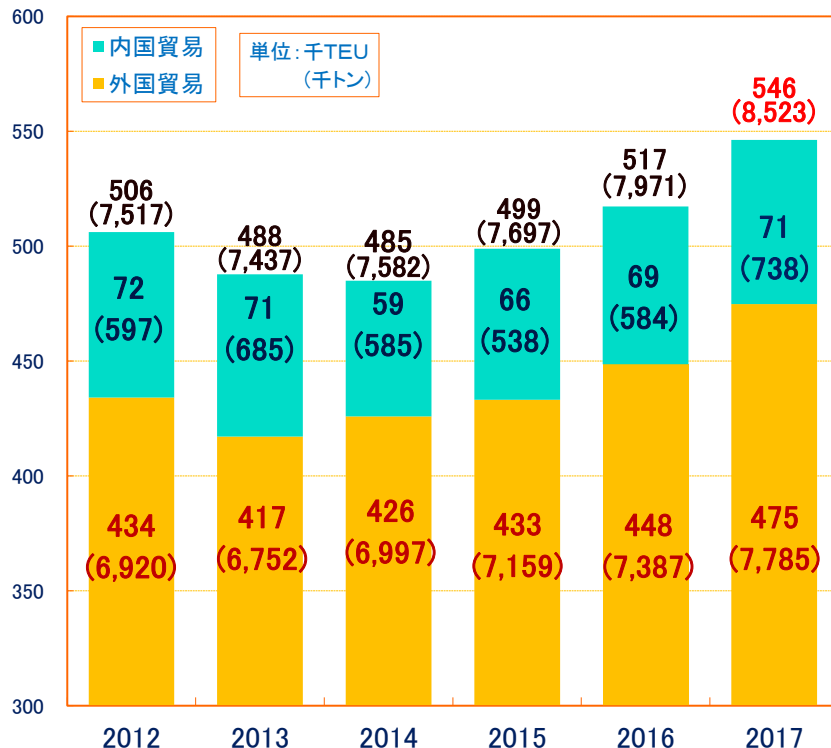
品種別海上出入貨物(外国貿易)



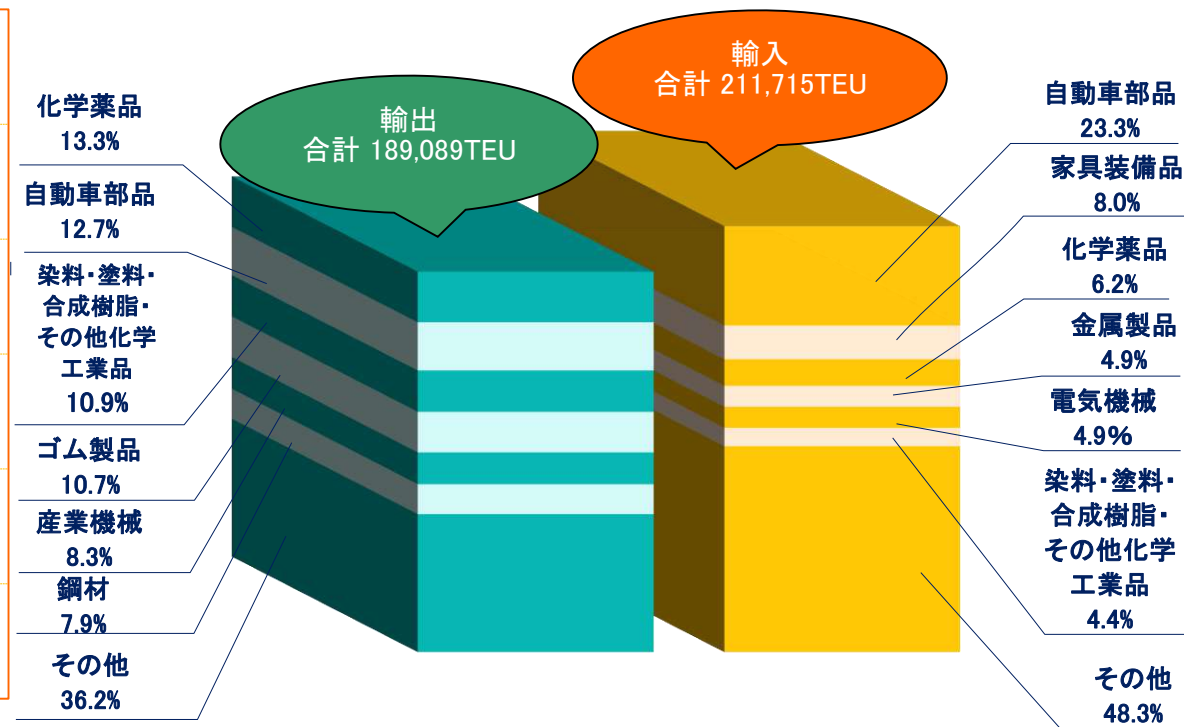
平成29年は **54万6182TEU** 3年連続増加

過去最高の取扱量（前年比5.6%増）

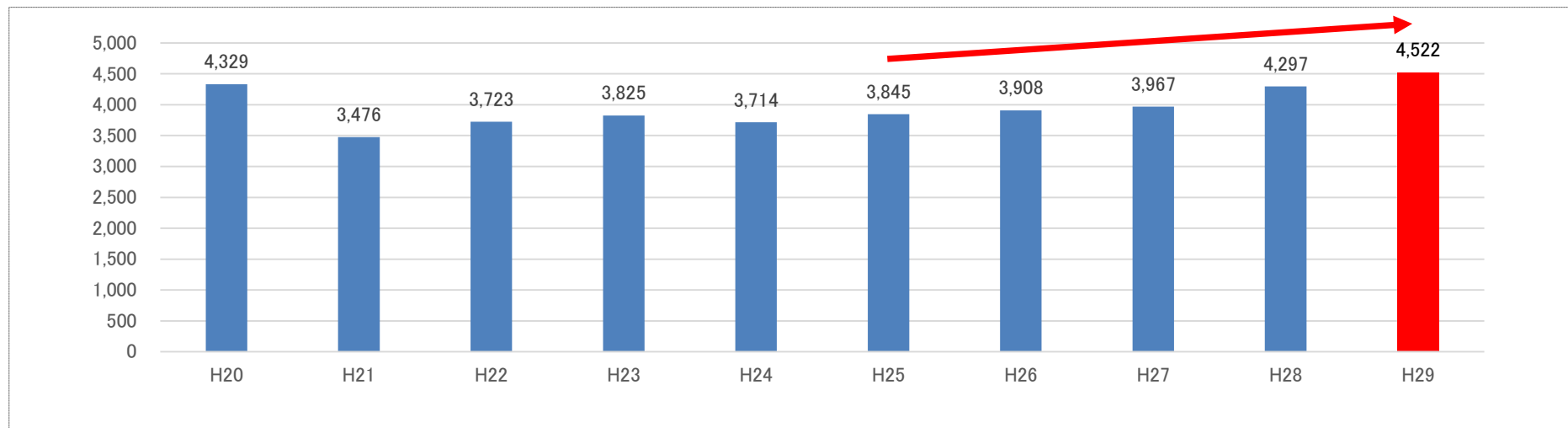
コンテナ貨物取扱量



国際コンテナ貨物主要品種の割合



平成29年は、4520万トン 5年連続増加
過去最高の取扱量（前年比5.2%増）



新門司港を拠点とする長距離フェリー3社は、平成27年から平成28年にかけて就航する12隻のうち8隻を大型新造船化 ➡ 輸送力 約25%UP



新門司（北九州市）-神戸航路に
1万6300総トン型新造船2隻を投入 2020年春頃



・新造船の特徴

- 1 瀬戸内を就航するフェリーで”最大級の船型”
- 2 トラック・乗用車の積載力が向上
- 3 個室化を進め、快適性が更に向上
- 4 SOx 対応策として、国内旅客船初のスクラバーを搭載

上図はH27新造船「いずみ」の写真。新造船は「いずみ」より1階層増やす計画

北九州貨物ターミナル駅

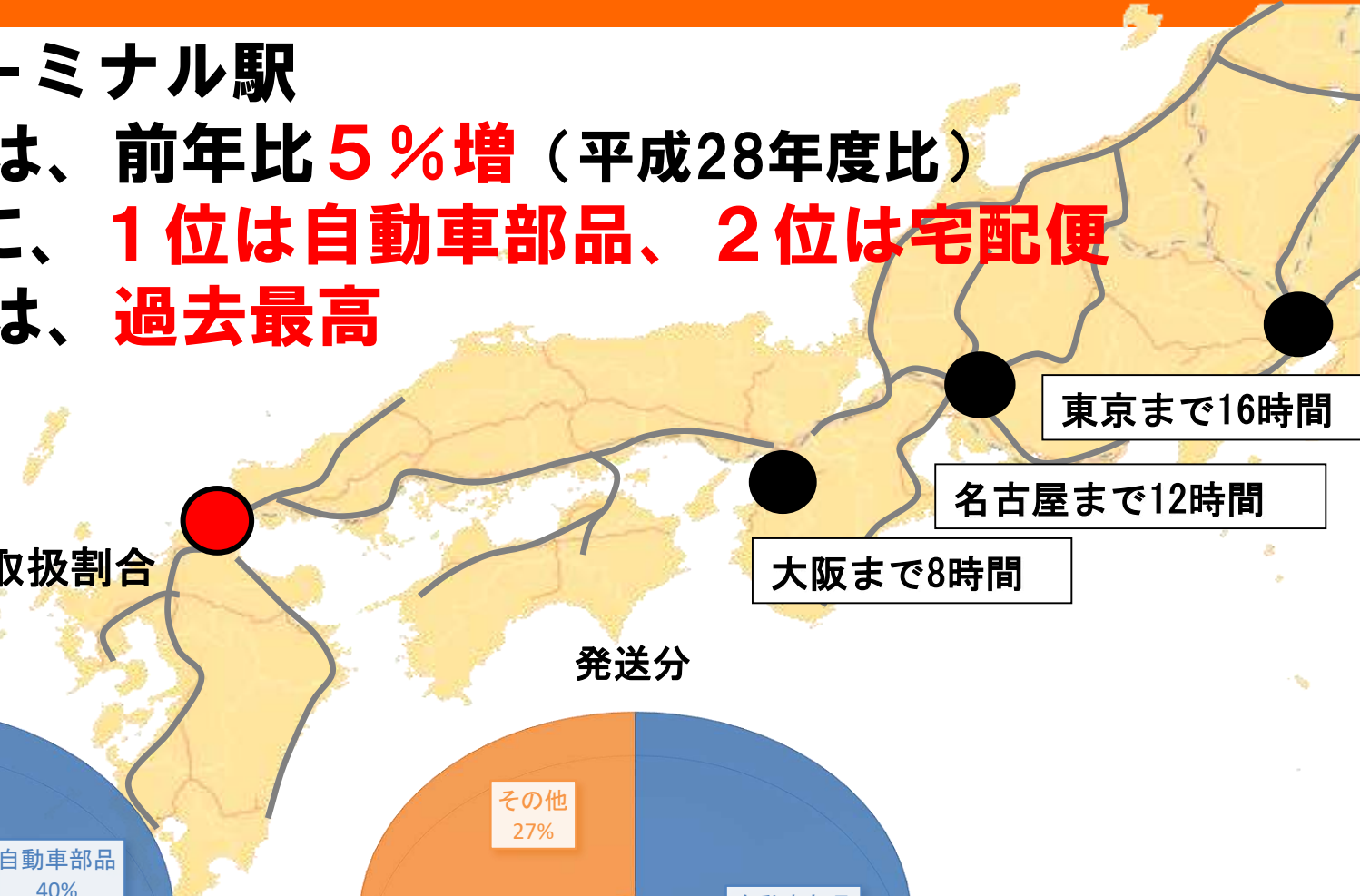
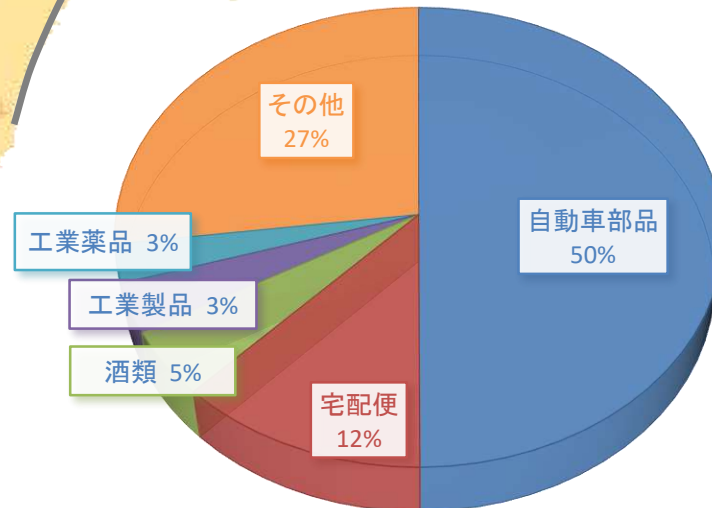
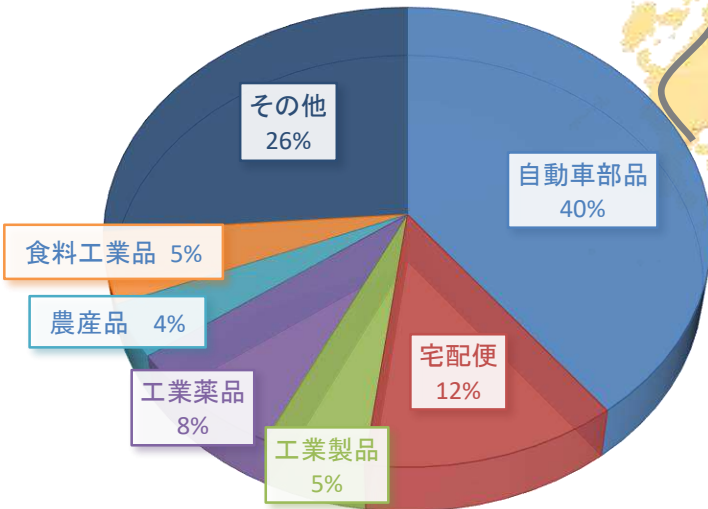
平成29年度は、前年比 **5%増** (平成28年度比)

発着ともに、**1位は自動車部品、2位は宅配便**
平成29年度は、**過去最高**

平成29年度 品目別取扱割合

到着分

発送分



代行輸送の荷役状況(日明地区岸壁)



不通区間(9/30開通)
東福山~広島

■山陰線迂回輸送

北九州⇔(山陰線)⇔名古屋

北九州港

岡山港

大阪南港

■船舶代行輸送

北九州港(日明)⇔岡山港

北九州港(門司西海岸)⇔大阪南港

■トラック代行輸送

北九州⇔岡山



陸・海・空の高速輸送網に
好アクセス（約140haの産業用地）

29年度は

6社に分譲、1社が借地契約
分譲率が91.2%に到達

■用地概要■

分区 商港区
 用途地域 準工業地域
 建蔽率 60%、容積率 200%
 公募面積 約4.7ヘクタール（H30.9）
 分譲価格 23,100円/m²（条件による）

| 年度 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 合計 |
|-------------------------|--------|--------|--------|-------|--------|---------|
| 売却 件数 | 1 | 3 | 4 | 1 | 6 | 15 |
| 金額 (百万 円) | 1,570 | 560 | 392 | 87 | 2,001 | 4,610 |
| 面積 (m ²) | 60,853 | 21,443 | 16,362 | 3,363 | 94,996 | 197,017 |
| 分譲率 (%) | 75.2 | 76.8 | 83.1 | 83.3 | 91.2 | |



地区内に整備された 豊富な港湾インフラ

29年度は
2社に分譲
分譲率が94.7%に到達



■用地概要■

分区 工業港区
用途地域 工業専用地域
建蔽率 60%、**容積率** 200%
公募面積 約3ヘクタール（H30年度）
分譲価格 20,000円/m²（条件による）

| 年度 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 合計 |
|-------------------------|-------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 売却 件数 | 2 | 1 | 6 | 5 | 2 | 16 |
| 金額 (百万 円) | 128 | 746 | 926 | 754 | 905 | 3,459 |
| 面積 (m ²) | 5,888 | 37,467 | 47,065 | 37,180 | 48,247 | 175,848 |
| 分譲率 (%) | 90.8 | 91.7 | 92.7 | 93.5 | 94.7 | |

バイオマス(混焼)発電所の稼動に伴い、新たな物流の発生

事業者: 響灘エネルギーパーク合同会社
所在: 北九州市若松区響町二丁目
設備容量(最大発電能力): **11.2 [万kW]**
燃料: 石炭25万t/年
木質ペレット16万t/年

事業者: 株式会社響灘火力発電所
所在: 北九州市若松区響町一丁目
設備容量(最大発電能力): **11.2 [万kW]**
燃料: 石炭最大36万t/年
木質ペレット最大15万t/年

(環境影響評価書から引用)



響灘エネルギーパーク合同会社 発電所



株式会社響灘火力発電所

寄港回数

平成28年

9回（門司：6、ひびき：3）

平成29年

33回（門司：8、ひびき：25）

平成30年

30回（門司：10、ひびき：20）

乗船客数

平成28年 0.7万人

平成29年 9.2万人（1.4倍）

平成29年の本市インバウンド観光客数（約68万人）の約15%に相当

ひびきCTに寄港した大型クルーズ船（一例）

《伊・コスタ・クルーズ》
（10.2万トン、272.2m、2,716人）

《米・プリンセス・クルーズ》
（14.3万トン、330.0m、3,560人）

《米・ロイヤル・カリビアン・インターナショナル》
（16.7万トン、347.8m、4,180人）



2019年(平成31年)4月初寄港



アザマラ・クエスト
《米・アザマラ・クラブ・クルーズ》
(3万トン、181m、731人)

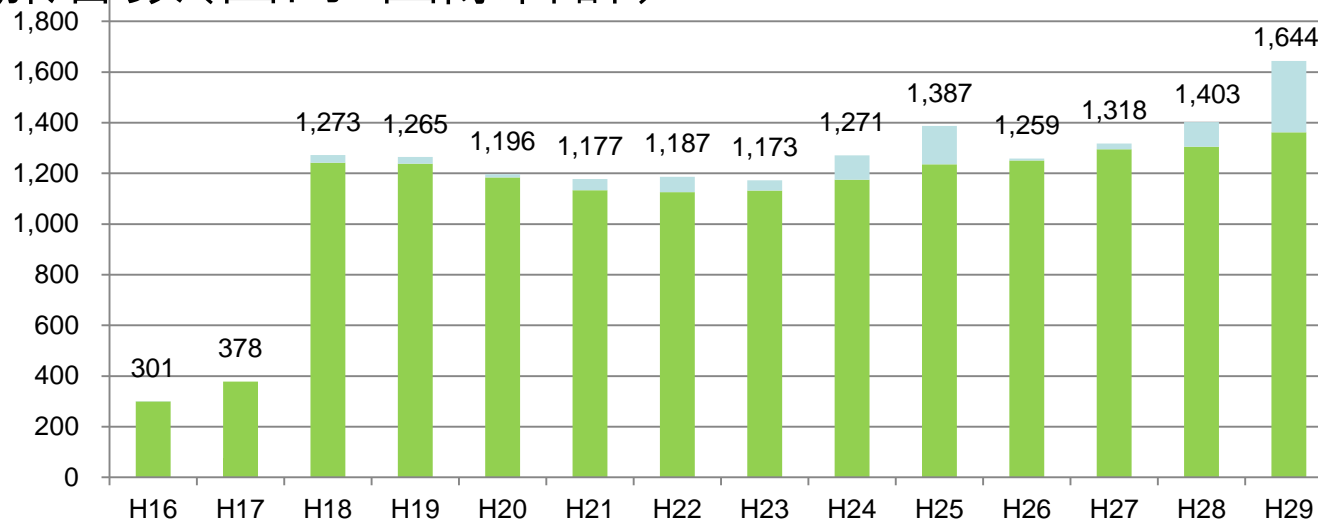
2019年(平成31年)3月初寄港



クイーン・メリー2
《英・キュナード・ライン》
(14.9万トン、344.3m、3,271人)

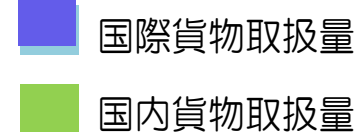
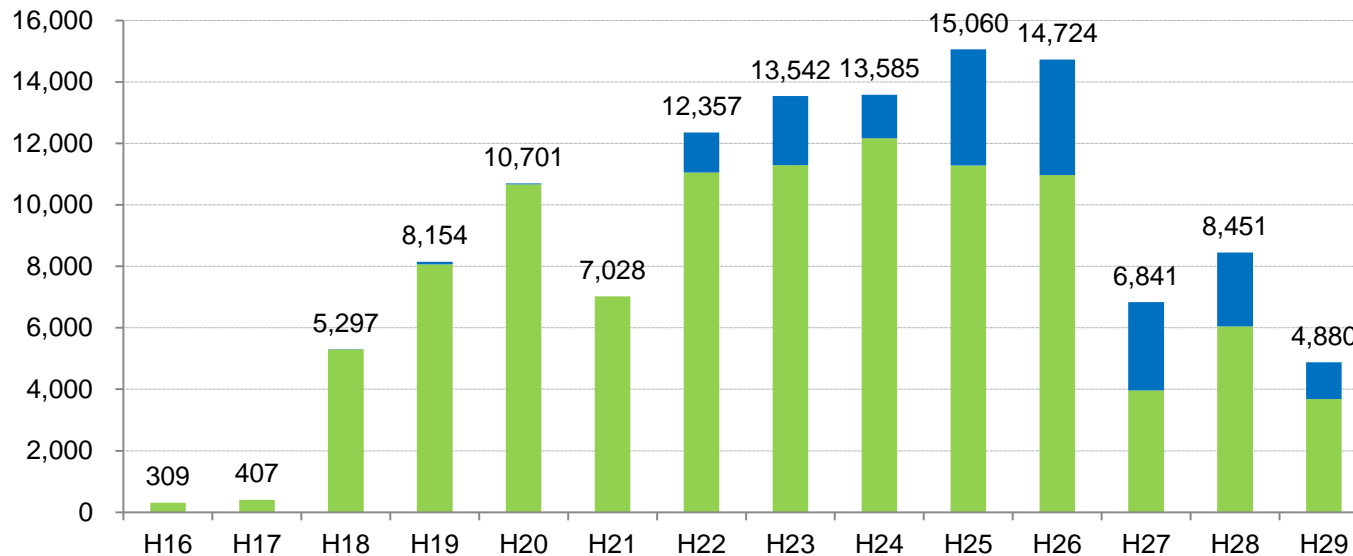
■ 旅客数(国内・国際合計)

(単位：千人)



■ 貨物取扱量(国内・国際合計)

(単位：トン)



| 種別 | 路線 | 航空会社 | 便数等 |
|--------|-----|--------------------------|--|
| 旅客 | 国内線 | 東京(羽田) | 日本航空 5往復/日 |
| | | | スターフライヤー 11往復/日 |
| | | 名古屋(小牧) | フジドリームエアラインズ 1往復/日 |
| | | 沖縄(那覇) | スターフライヤー 11月16日~ 1往復/日 |
| | 国際線 | 大連(中国) | 天津航空 運休中 |
| | | 釜山(韓国) | ジンエアー 1往復/日 |
| | | ソウル(仁川)(韓国) | ジンエアー 1往復/日 |
| | | 襄陽(韓国) | コリアエクスプレスエア 平成30年5月27日定期運航開始 3往復/週 |
| | | 務安(韓国) | コリアエクスプレスエア 平成30年5月27日定期運航開始 3往復/週 |
| | | 台北(台湾) | スターフライヤー 1往復/日 |
| 務安(韓国) | | ティーウェイ航空 11月2日~ 1往復/日 | |



日本航空



スターフライヤー



フジドリームエアラインズ



天津航空



ジンエアー



コリアエクスプレスエア

■北九州空港将来ビジョン推進強化期間の最終年度

国際定期便の更なる就航に向けて、

- 韓国や中国、台湾、東南アジアの福岡空港の発着枠を超える就航希望航空会社を積極的に誘致予定。
- 福岡空港で対応できない、早朝・深夜便や航空機の稼働率向上を目指しているLCCについて誘致活動を強化。

➤ 北九州＝那覇線

好評につき今年の冬も運航が決定！！

| 北九州発 | 那覇着 | 那覇発 | 北九州着 |
|------|-------|-------|-------|
| 9:15 | 11:00 | 12:00 | 13:40 |

※ 運航ダイヤ：平成30年11月16日～平成31年3月30日（1日1往復）

➤ 北九州＝台北（桃園）線

平成30年10月28日から、台湾・台北線がスタート



| 曜日 | 北九州発 | 台北(桃園)着 | 台北(桃園)発 | 北九州着 |
|-------|-------|---------|---------|-------|
| 月・水～土 | | | 11:50 | 15:05 |
| 火 | 15:55 | 17:40 | 11:45 | 15:00 |
| 日 | | | 11:35 | 14:50 |

※ 運航ダイヤ変更となる場合がありますので、北九州空港のホームページ等でご確認ください。

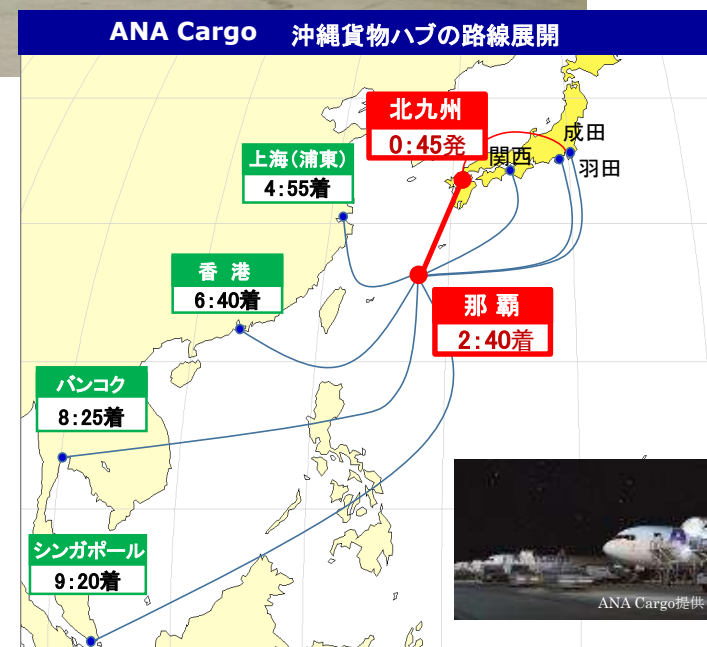
ANA貨物定期便が運航スタート(週5便、火～土曜日深夜)

- 成田 (21:00発) ⇒
北九州 (23:15着/0:45発) ⇒
那覇 (2:40着) ⇒
中国・アジア4都市 (早朝着)



B747貨物チャーター

- ジャンボ貨物機が月1～2便就航※年間平均便数
- 生体牛馬の輸入
- 一般貨物の輸出入



特長ある大型貨物チャーターや シーアンドエア輸送



第七管区海上保安本部の福岡航空基地、北九州空港に移転 ～「北九州航空基地」の設置～

■ 7管福岡航空基地 北九州へ

海上保安庁は29日、福岡空港(福岡市)にある第7管区海上保安本部福岡航空基地について、2019年度末までに北九州空港(北九州市、福岡県苅田町)に移転すると発表した。現在の基地施設が、福岡空港で24年度末の完成を目指す増設滑走路の予定地に当たるため。

移転後の名称は「北九州航空基地」とする。移転費用は1643億円の滑走路増設

事業費で賄う。同庁は「移転に伴い、過密状態の福岡空港よりも緊急出動がスムーズになるメリットも期待できる」としている。

同庁によると、福岡航空基地には航空機2機とヘリ2機を配備。職員は約70人で、北部九州や山口県沖の海難救助、警備に当たっている。移転による体制や担当エリアに変更の予定はない。(湯之前八州)

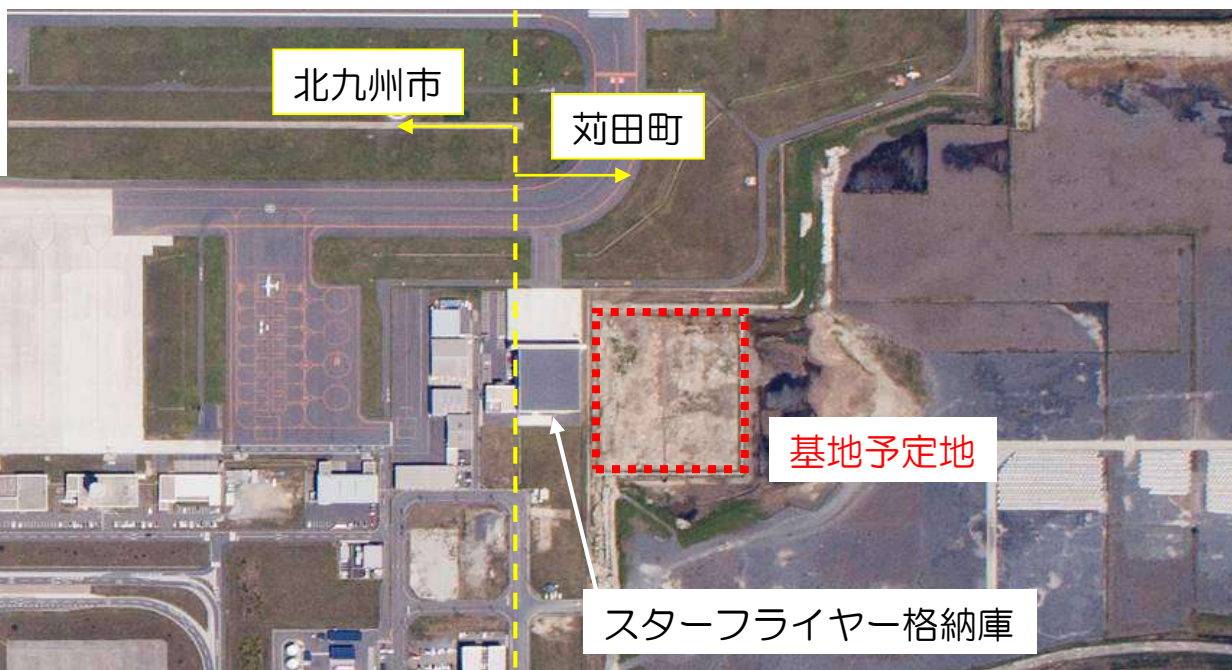
H30.8.29 西日本新聞(夕)



中型ヘリコプター
はまちどり



中型飛行機
うみかもめ



30年後の福岡空港の将来イメージ



国際線地区(イメージ)



国内線地区(イメージ)

比類なき東・東南アジアの航空ネットワークを有する、東アジアのトップクラスの国際空港

- 東・東南アジアの就航国数は日本一 14ヵ国・地域、51路線に就航
- 旅客数3,500万人(国際:1,600万人、国内:1,900万人)、100路線(国際:67路線、国内:33路線)
- SKYTRAXが実施するWorld Airport Star Ratingで世界最高水準の5スターエアポートに定着

| 航空ネットワークの将来像 | 現状 | 2023年度 | 2048年度 |
|----------------------|--------------|--------------|--------------|
| 東・東南アジア | 8ヵ国 15路線 | 11ヵ国 22路線 | 14ヵ国 51路線 |
| 国際路線 (東・東南アジアを含む) | 10ヵ国 18路線 | 13ヵ国 26路線 | 25ヵ国 67路線 |
| 国内路線 | 23都市 26路線 | 23都市 26路線 | 30都市 33路線 |

関係地方公共団体等及び北九州空港との連携

空港の戦略的な利用促進

- 福岡県・福岡市との協議の場を設置し、連携を強化
- 地元経済団体との連携による利用促進

福岡県の空港の将来構想の実現に係る協力方針

- 24時間空港の特性を活かし、早朝・深夜便の就航を希望するエアラインを北九州空港に誘導
- 貨物専用機の更なる誘致を進め、貨物ハンドリング支援を通じ、北九州空港の貨物拠点化を支援

福岡空港との競争⇒協調



【国土交通省への主な要望】

- 大型航空機でも安定して離着陸ができるよう滑走路の3,000m化の早期実現
- RESA（滑走路端安全区域）対策の早期実施



北九州 歴史と夢は 港から

北九州市は、

- ・ 経済成長するアジアに近く
- ・ 陸・海・空の多彩な物流モードが充実し
- ・ 広大な臨海部の産業用地と港湾区域を有しています。

この3つの特徴を活かし、

「**利用しやすい港**」を目指して参ります。

今後とも、北九州港・北九州空港をご活用
頂きますようお願い申し上げます。